



サポーターの方々に

ありがとう

私は小さい頃にサッカーをしていました。今でも友達とプレーすることもありますが、自分にとってはすっかりサッカーはテレビで観るものとなっていました。

そんな折、同じくサッカー好きな友人がサッカーを観に行こうと誘ってくれました。

私自身は、サッカーの試合を観に行つたことは数えるほどしかなく、楽しみな気持ち半分、熱心なサポーターと呼ばれる人たちの中に入ることには不安な気持ちもありました。

当日になってみると残念ながら大雨でしたが、せっかくだからと雨ガッパを買い込み試合を見に行きました。試合会場に行くとき大雨にもかかわらず、多くの人が応援に来ており、その熱心に驚きました。

試合中も大きな声援を送り続けている姿をみると、サッカーを観に行つたのに、気がついたら試合だけではな



くサポーターを見ていて、なかなか忙しい観戦になっていました。試合が終わわり、選手がスタンドに挨拶に来てくれました。至近距離で選手を見れるのは実際に観戦に行つてこそ楽しみです。

テレビで観ればいいやと試合を実際に観に行くことを億劫に感じてた私はこれからはたまには試合を観に行こうと思えました。

久しぶりのサッカー観戦に満足しつつ、雨で濡れた服を早く何とかしたいと足早に帰ろうとしていた私は、雨の中サポーターがスタンドのゴミ回収をしている姿を見つけました。

雨の後のスタンドは、パンフレット等がこびりつき掃除をするのも一苦労です。それを試合中は全力で応援していた人たちが黙々と片づけていました。

私はその姿を見て、この人たちは本当にチームをサポートしているのだなあと感心しました。サポーターの方々へ、サッカー観戦をただ観る以上に楽しませてくれてありがとうございます。

(横浜市/K・K)

夜間の工事にありがとう

私の家から駅へ向かう道路は水道管やガス管、電話線と数々の工事に よつてでこぼこでした。

雨が降れば水たまりができるし、お年寄りの中には出づ張り足に足をひっかけたり、傾きによるめいたりと思いが少なからず不便さを感じていたと思います。

しかし、多くに人が使い、また、車の交通量も多い道でしたから、工

事で止められればそれはそれで困るので、どうしたら良いのかわかりませんでした。そんな道が、先月から夜間の工事で少しづつ整備されていきました。そして先週、ついに工事が終わりました。



交通量の少なくなった深夜から朝方に掛けて、あまり音を立てられないうちで着実に道を整備していつてくれた工事関係者の方々には頭が下がります。

新たに整備された道路は、でこぼこもなく水たまりもできません。その技術にあらためて感心すると共に、深夜にこのように世の中のための仕事を行っている人がいることにありがとうございます。

夜間工事の関係者の方々、連日の深夜の作業、お疲れさまでした。そして、きれいな道路をありがとうございます。

(世田谷区/T・M)

譲ってくれてありがとう

日頃から運動をすることが好きな私の楽しみは休日近所の川沿いをランニングすることです。

先週の土曜日、いつも通り、気持ちよく走っていました。私が普段走っているコースには一部道が細くなつていて、どちらかが道を譲るの暗黙のルールになっていました。



その日も向かい側から走ってくる人がおり、タイミング的には私が譲るところでした。しかし、止まるのが嫌だったのでそのまま未舗装の脇道を走つていこうと思っていました。

勢いよく脇道を走っていると、雨上がりのせいか石を踏んだ際に滑つてしまい、思いつき足をくじいてしまいました。

そのまますぐに病院に行き診てもらつと、折れてはいないもののしばらくは松葉杖を使って下さいと言われました。

月曜からは松葉杖をつきながら毎朝満員電車に乗らなければならぬことを思うととても憂鬱になりました。

何とか座れるようにと早目に家を出しましたが、慣れない松葉杖に四苦八苦し、結局空いている時間には電車に乗れませんでした。

何とか良い場所が確保できないかなあと微かな望みを抱くもののホームにきた電車はすでに混雑しており、何とか頑張つて乗り切ろうと覚悟を決めました。

その時、扉が開いて松葉杖の私を見た乗客の方々が、次々と道を譲ってくれました。おかげで、安心して通勤ができました。

いままでも席の譲り合いの光景を何度か見かけたことはありましたが、実際自分が譲られる経験をするとは思っていません。次こそは自分が席を譲る側になろうと強く思いました。

(川崎市/M・T)



### 野球の神様にありがとう

実は最近父は足腰が弱り、家に引きこもり気味になった事を家族全員心配していました。

リハビリや療法士の先生も父には遠慮があり、父も拒否するので主治医の先生もケアマネの方も皆お手上げでした。まして息子の私が言っても逆に「お前に言われたくない！」と怒鳴られる始末で、だれも父を外に連れ出す事が出来ません。どうしたらいいのか我々家族は悩む毎日でした。

ところが最近野球の神様が父のために動いてくださったとしか思えない出来事があったのです。それは・・・。西武球場でのイベント「ライオンズクラシック」も今年で5年目をむかえます。今年も父がプロデューサーをさせて頂く為、先日西武球団の方が説明にみえました。

今年は選手全員が背番号「24」をつけプレーをするそうです。

そして稲尾和久選手の背番号が西武球団で初の永久欠番になるそうです。

アメリカ大リーグの「ジャッキーロビンソンデー」を模したとはいえず父は実にうれしそうに思い出を語りだしました。「よし！球場に行くぞ」と語る父の目が生き生きとしてきました。

その数日後、父の部屋で式典の出演依頼の手紙を発見しました。それは「純八の会」からのものでした。純八の会というのはパリーグ野球を愛する方々の会です。

山王病院の高橋先生がまとめておられ、父も共感している純粋に野球を考えているすばらしい会です。

高橋先生はちよくちよくご自身の著書やお手紙を父に送ってくださいました。今回は四年ぶりに総会を開くという事で、父にメインゲストで話してもらえないかという内容でした。私が父に代わって連絡させていただきました。高橋先生は「おとうさんの事を心配していたんですよ。体調は大丈夫ですか？」と父の事を案じてくださいます。

私は父の状況を説明させて頂きました。先生は「私におまかせください。」と父と関わってくださいることになりました。父も先生のいう事を聞いて山王病院にリハビリに通う気になってきたようです。

来月には福岡市美術館でライオンズの式典も予定されています。今後そ



いうイベントが多くなって来るでしょう。野球の神様に見守られ、神様を愛する多くの人々に支えられて父は生きがいを見つけたつあります。

「おやじさん。おやじさんの背番号7も永久欠番になるといいね」と私がいうと

「お前はバカだな。永久欠番になっていいはずがないだろ。7っていうのは皆にとつてラッキーな番号なんだ、みんなが使うもんなんだよ。そんな事もわからないのか。」と毒づきます。

神様の息子の親父は謙虚なんだなとしみじみと怒鳴られる事に嬉しさを感じました。

いつまでも元気でいてくださいなね。  
(ありがとう不動産 豊田泰由)

### 母親の手料理にありがとう

昨日、母の誕生日ということ、私が料理を作ることになりました。

しかし、いざ作るうとするとなんか大変だつたり、何種類か作るのに苦労したり、後片付けに時間がかかったりと、なかなか上手いきませんでした。

普段は、仕事が終わりに、家に帰ればご飯があるのが当然だと思っていました。これが、大変な仕事だと痛感しました。これを毎日、母は私たち家族のために自然にやっつけていてくれたのだと気づきました。

普段は言い出せないけど、いつもありがとう。  
(横浜市/S・O)



【携帯 Deショット】  
一見して山吹のように見えるのだから山吹(五弁花)ではない「シロヤマブキ」は、環境省の指定の絶滅危惧種に登録されている日本原産のバラ科の花。花言葉は「気品」「崇高」「待ちかねる」だそうです。



携帯電話の方はQRコードから  
パソコンの方は下記のURLから  
<http://1039.seesaa.net/>  
メールでのご投稿は...  
[info@holonics.gr.jp](mailto:info@holonics.gr.jp)



【編集・企画】株式会社水ロニックス総研・編集部

【原稿をお待ちしています。】

本誌は北海道から沖縄までの友人知人から「ありがとう」のこぼれに因んだ思い、出さ、作文、詩、俳句、短歌、写真、絵画などを掲載します。作品は編集部までお送りください。投稿いただいた方には、ささやかな賞状を差し上げます。  
-やあがとうマガネ拭き-をプレゼントさせていただきます。  
皆様からのご投稿をお待ちしております。また、ご自分のお名前や事業所名を刷り込んで、身近な方やお客様へ配布されてはいかがでしょう。編集へのご意見やご提案がございましたら是非お聞かせください。

